

第4回 高浜町総合計画審議会 議事録

日程 令和2年7月15日(水) 午後1時30分より

会場 高浜公民館会議室1、2

1. 開会

- ・ 委員15名のうち13名が出席、高浜町総合計画審議会条例第6条第2項の規定により会議の成立を確認。
- ・ 会議録作成のため、録音を行うことを確認。
- ・ 高浜町PTA連合会会長の役員改選に伴う委員の交代について。

2. 会長あいさつ

田中会長 新型コロナウイルス感染症の結果、社会経済システム、地域・家庭生活の変革が起きている。専門家によれば元の生活様式に戻ることはないとのことである。変革が進む中で高浜町の総合計画を審議することになったが、これは有意義なことだと考えている。皆様から忌憚のないご意見をお願いしたい。

3. 議事

(1) 総合計画におけるSDGs達成に向けた取組の推進

事務局 資料1 総合計画におけるSDGs達成に向けた取組の推進について

田中会長 事務局からの説明について、ご質問・ご意見等があればお願いしたい。

— 特に意見なし —

(2) 総合計画基本計画素案Ⅰについて(素案説明・意見交換)

事務局 グループに分かれて分野ごとに意見交換をお願いしたい。

【Aグループ ①子ども・子育て、②地域共生社会、③保健・医療】

事務局 資料2 総合計画基本計画Ⅰ 資料2-A①子ども・子育てについて

委員 たくさん施策があるが、町民に向けてのPRは。外国人の母親などもいるので、多国籍言語での周知などはできているのか。

事務局 広報紙でお知らせしているほか、子育て世代の方にはダイレクトメールなどをお送りしている。

委員 課題に、子育ての悩みや不安を身近に相談できる体制の充実が求められるとあるが、kurumuの中で十分にできていると認識しているのだが、いかがか。

事務局 妊娠時点で母子手帳をお渡しする時に情報提供をしているが、すべての人がkurumuに相談に来ていただけている訳ではない。子どもが生まれたご家庭には、職員が訪問し聞き取りなどして、なるべく孤立することのないようにしている。

委員 例えば、子育ての経験者がベテランなので、ボランティアで相談に乗るなどしていけ

ばいいのではないか。

事務局 地域でできればと思っているが、具体的には進められていない。施策概要に地域の人が子育て世代と関わる機会を増やす旨、記載している。

委員 格差社会、子どもの貧困といわれるが、子宝手当など経済的な負担の軽減について記載はされているが、貧困にスポットを当てた施策がいるのではないか。また、教育環境だが、学校施設整備について、少子化が進む中で、これからの10年を、現在の体制のままで考えてよいのか。特に内浦の小中学校の問題になるが、打ち出さなくてよいのか。それから、分野の指標だが、施策の概要とリンクしていない。年間の結婚者数はどの施策に対応するのか。学校のLED化率も、学校施設の長寿命化に関わるものかもしれないが、違和感がある。ICTの設備を充実させてICTの教育についての指標などはないのか。

事務局 貧困対策については、高浜町では、第3子から保育料の無料化をしているが、この9月から県の事業が始まって、所得制限で360万円未満の家庭は、第2子から保育料が無料となっている。教育委員会では、ひとり親家庭や貧困家庭などに準要保護として就学援助などを行っている。

委員 そのあたりを施策の概要で書き加えていってはどうか。

委員 学校の統廃合についてのことかと思うが、学校と地域は密接になっている。内浦であれば、学校がなくなると地域の衰退に結び付く。

委員 学校がなくなってさみしいということではなく、最大の目的は地域の生徒の教育環境が10年後も守られることであり、そのために10年間の子どもの推移を見越して考えておくことが必要なのではないか。

事務局 学校のLDE化率については、学校の整備状況を表すものとして考えたが、検討する。タブレット端末の普及率といったようなものもあるかもしれない。

委員 内浦の子どもたちは人数的にはMaxかと思う。私も含めて、学校がなくなるんじゃないかという恐怖心を持って過ごしている。施策を見ても、高浜のまちなかのほうのサービスで、内浦地区ではお願いしにくいような施策かなと感じる。土曜保育にしても、頼んだら、人数の加減で高浜など大きなところに行ってほしいなどということが度々ある。子どもの人数でといわれたら、ゆくゆくは学校がなくなるのかと思ってしまう。気持ちの問題ではなく、移動に保育所の送り迎えに往復で1時間以上かかとなると、生活がガラッと変わる。広く検討いただきたい。また、内浦地区にも恩恵がある施策を盛り込んでほしい。

事務局 きめ細かなサービスを、ということで検討したい。

事務局 資料2 総合計画基本計画I 資料2-A②地域共生社会について

委員 成年後見制度の普及・利用支援とあるが、具体的には。

事務局 成年後見制度の認知が進んでいない状況である。地域福祉計画策定と併せて、制度の住民周知を図り、制度利用も促進していきたい。

委員 「高齢期を自分らしく暮らす取組の促進」の主軸となる事業が敬老会や老人クラブな

どの事業があがっているが、独居高齢者の生活サポートについて、通院や買物などの移動手段の確保、ごみ出しや話し相手、社会的なかわりを保つことなどの施策は非常に重要なので、クローズアップしていく必要があるのではないか。

委員 ひとり暮らしの高齢者の見守りについては、社会福祉協議会を中心に、民生委員や老人家庭相談員などがそれぞれ尽力していただいて、かなりのレベルとなっていると思うが、交通手段は弱点だ。内浦地区のぐるりんバスの取り組みには注目していて、町全体に広まっていくのかと感じている。

「誰もがその人らしく支え合う」という目指す姿において、一人ひとりの人格を尊重するということが基盤なので、「人権」ということをまず一番に持ってきているのはよいと思う。

委員 特別養護老人ホームは充足しているのか。西三松地区だが、近隣で入居できないから、子世帯を頼って入居するとのことで転居されること増えている。社会福祉施設整備や給食センターの整備に係る事業は掲げられているが、隣保館を新しくすることについても、計画の中で含めておいてほしい。

事務局 三松センターの改修について、明確に時期を示すことは難しいが、進めていくことになっている。計画への一定の盛り込みを検討する。

委員 移動手段については、乗りたい時間にバスがない。

委員 4月から父の介護をすることになり、同じ町内なので、通いで食事を作りに行ったりしている。昼食は社会福祉協議会のサービスなどでなんとかできるが、夕食のサービスがなく、あればいい。また、介護者の相談できる場、集まれる機会などがあればいいなどと思う。

委員 別の会議で県民生協との連携ということも話したが。

委員 13～15時くらいに配達してもらったものを夕食にしている。民間の業者が進んでいる。

事務局 家族会など行っているのので、介護者への視点について含めて調整したい。

委員 社協としても配食ニーズに応えようとしているが、人的になかなか難しい。

事務局 みんなが忙しい時間帯なので、なおさら。

委員 「いくつになっても」とめざす姿にあるが、今後、後期高齢者が増加する中で、地域での生活を支援する状況は難しくなっていくのではないかと。

事務局 地域共生ということで、要介護・元気高齢など様々な方々が自分らしく生活していくための支援策を提供していくことを表わそうとしている。

委員 シルバー人材センターについても、含めた記述としておいてほしい。

事務局 施設に限界があるが、施設に頼らなくてはいけない人もいる。基本的には、障がいのある人も介護が必要な人も、在宅、地域で生活できるような支援が理想だが、現実には難しい。公的なサービスと地域の支え合いで何とか対応していこうと、こういうめざす姿としている。

事務局 資料2 総合計画基本計画 I 資料 2-A③保健・医療について

委員 内浦診療所の開所状況は。

事務局 週1回、火曜日の午前中に予約対応で診察している。受診者がゼロの日もある。
委員 和田地区の保健福祉センターと新設する社会福祉総合施設についてのすみ分け方は整理されているのか。

事務局 保健福祉センターには、行政と社会福祉協議会が入っているが、新しい施設には、行政機関は入らない。

委員 国民健康保険料の滞納については、新型コロナウイルス感染症の関係で増えるのではないか。

事務局 年度末の集計になるが、その懸念はある。

委員 社会福祉協議会窓口で給付金制度もあるので、滞納という言葉がないようなかたちもお願いしたい。

委員 そもそも国民健康保険などは総合計画に書くような内容でなはいのでは。

事務局 法定受託事務ではあるが、今回の計画改定では、事務事業をすべて基本計画の分野に紐づけて、必要な集計ができるなど、管理しやすい計画となるよう考えている。

委員 この計画で、コロナの問題はどのような位置づけになるか。

事務局 計画の中で感染症に対する町民の認識を持ってもらうといったことなど、検討していく。

【B ループ ④住環境、⑤道路・交通、⑦安全・防災、⑧自然環境】

事務局 資料2 総合計画基本計画I 資料2-B④住環境について
委員 空き家対策は、空き家の持ち主を特定する、空き家を発生させない税制措置の検討など、全庁的な取り組みとしていくことも重要ではないだろうか。

高浜町は区をつながり、住民同士の横のつながりが強く、そういったことを好まない人たちは区長制のない坂田グリーンタウンに居住しているケースもある。区長制の有無は別として坂田グリーンタウンも一定の規模があり、防犯・防災面での地域ぐるみの取り組みは必要ではないだろうか。

高浜町には海や自然が豊かであり安全に遊ぶことは前提だが、そういった魅力を活かした公園はできないか。都市公園が必要なのか。また、コロナ時代には歩いて出かけられる、身近なところに自然と共生した公園は魅力的ではないだろうか。

委員 比較的新しい住宅の空き家であれば、流通するのではないか。行政が買い取り、事務所、倉庫、テナントとしてリースをするなど積極的な取り組みができないか。

事務局 塩屋はリースをしている事例の一つである。今のところは空き家のリース事業は検討していない。

委員 高浜町の住民は家を貸し出すことへの抵抗感が強い。空き家の持ち主が安心して賃貸に出せるような仕組みや住民の意識醸成が必要ではないだろうか。

委員 町内の空き家の情報は把握しているのか。民間事業者等と共有されていないように思う。

事務局 空き家の情報は一定、把握している。空き家バンクを通じた情報提供も行っている。
委員 不動産事業者の情報と空き家バンクの情報が一致していない。空き家バンクの情報が

古いことが多いように思う。

委員 空き家バンクの情報は、最初の窓口として重要だと思う。正確で新しい情報を提供いただきたい。

委員 移住体験、ホームシェア、2 地域居住、田舎暮らしなどコロナによって新しいニーズが生まれているのではないかと。そういった視点で空き家の利活用を考えてはどうか。

委員 公園や広場の場所を住民と共有する必要があるのではないかと。

事務局 昨年度、緑の基本計画を策定し、一定把握している。概要版も全戸に配布しているが、積極的に情報提供をしていきたい。

委員 住環境について他にご意見がなければ「道路・交通」について意見交換をしたい。

事務局 資料2 総合計画基本計画 I 資料 2-B⑤道路・交通について

委員 JR 小浜線が暴風雨や雪で不通となった場合の代替交通の確保について、検討いただきたい。最近では雨や風で止まるが増えているが、通学で利用している子ども達がかわいそうだ。

事務局 JR 小浜線の脆弱性については嶺南地域の自治体と JR で対応策について協議を進めているところである。

委員 町内の交通について、オンデマンドや「ぐるりんバス」を運行しているが、小型バスなど小規模でも構わないので、路線化することはできないか。採算の問題だけでなく社会資本として、高齢化が進む中では移動手段を確保することが重要だと思う。

委員 高齢者の免許返納率はどの程度なのか。

事務局 年間 50 件程度となっている。移動の手段が確保できていないと、免許返納を進めることは難しい。町内のバスや移動手段は、社会コストとして一定整備する必要があると考えている。路線化は広域では難しいが、各地区と市街地を結ぶものなど区間を限定しつつ、新しい手法や技術を取り入れながら進めていきたい。

委員 青葉トンネルの老朽化が進んでおり、補修工事などを国、県に要望いただきたい。

事務局 以前から国には補修等の要望をしており、改良に向けた動きが進みつつある。

委員 広域や都市部への移動手段として、JR 小浜線だけでなく高速バスの利便性向上を検討いただきたい。廃線になってしまったが、大阪への高速ライナーバスは一定の需要があった。

事務局 都市部とのアクセスの維持は重要なことだと考えている。JR に限らず、高速バスなど近隣市町と連携しながら、2 次交通の充実について考えていきたい。

委員 「道路・交通」について他にご意見がなければ「安全・防災」について意見交換をしたい。

事務局 資料2 総合計画基本計画 I 資料 2-B⑦安全・防災について

委員 高浜町は自然災害が少ないことを強みとして PR できないだろうか。

高浜町で注意すべきは水害対策だと考える。特に海からの波が川を押しとめて内水氾濫する可能性がある。

施策概要に「治水」が記載されていないが、検討する必要があるのではないかと。消防団の担い手が減少している。区の世帯数に応じて人数割りがされていると思うが、予備隊を活用するなど担い手の増員を検討してはどうか。

事務局
委員
水害、大雨に関するハザードマップの見直しを進め、新たにHPで公表している。町内の防犯カメラの設置はどのような状況か。高浜町も以前よりは物騒になった。防犯カメラの設置を進めていく必要があるのではないかと。LED街灯の設置も進め、町の安全性を高めてもらいたい。

事務局
委員
防犯カメラとしてではなく、危険個所の監視の目的でカメラを設置している。行政が防犯カメラを設置するだけでなく、設置の補助をすることで民間事業者の事務所、お店などに設置してもらってはどうか。監視だけでなく、高齢者の見守りの機能としても今後、ますます必要になると思う。

委員
「安全・防災」について他にご意見がなければ「自然環境」について意見交換をしたい。

事務局
委員
資料2 総合計画基本計画I 資料2-B⑧自然環境について
県の「嶺南Eコースト計画」と連携した取り組みになるが、施策概要に「スマートエリアの創出」を記載してはどうか。スマートエリアと伝統的民家のコラボなど田舎だからこそできることもあると思う。

事務局
委員
「嶺南Eコースト計画」を踏まえた事業を検討しているところである。基本計画にどこまで記載するか調整する。

委員
太陽光パネルの設置による自然環境の破壊や山肌を削って設置することで災害リスクを高めるなどの事例も生じている。高浜町としては、太陽光パネルや再生可能エネルギーの普及とその地域の環境や防災などをどのように考えているのか。規制なども視野にいれているのか。

事務局
委員
現時点では条例による規制は検討されていない。今ある自然環境、住環境への悪影響が生じないことを前提として、新エネルギー、再生可能エネルギーの普及などに取り組んでいく。

委員
施策概要で「積極的に」とあるため、誤解が生じないようにしていただきたい。

委員
全体を通じてご意見があればお願いしたい。

— 特に意見なし —

(3) 全体での意見共有（基本計画素案I）

各グループからの報告

4. その他

事務局
総合計画審議会の審議スケジュールについて

5. 閉会